

諏訪郡内 7館合同企画

諏訪郡内6市町村と
諏訪教育会が、
ひとつになっての取り組み。
各市町村の当時の遺跡や
遺物の展示とともに、
当時の時代観と現代との
違いを各館で分担解説。

会場と展示内容

星ヶ塔ミュージアム 矢の根や 旧石器時代観
 井戸尻考古館 縄文時代観1
 八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館 縄文時代観2・原始芸術観
 市立岡谷美術館考古館 弥生時代観
 諏訪市博物館 古墳時代観
 茅野市尖石縄文考古館《尖石》の誕生
 諏訪教育博物館《諏訪史》から歴史ハンドブック》
 協力・諏訪考古学研究会

（註）当時の時代名称は現代のように縄文時代・弥生時代ではなかった。従って各時代を「観」と仮に表現した。
 ※各館の入館料、開館時間、休館日等についてはそれぞれの館にお問合せください。



『諏訪史』第一巻

刊行100年記念展

“鳥居龍蔵が言う”

「この郡史は
大根の輪切りの様であつて、
その一つの切つた小さな輪は
本郡の地方史であるが、
この輪をすべて続けて見た
一本の大根は日本史である」

崇高な理念の元、地方史の「金字塔」といわれた『諏訪史』第一巻は、足掛け7年、1924(大正13)年に刊行された。

100年前の成果を
振り返り、
100年の重みを感じたい。

【会期】
2025年 2月1日(土)～3月23日(日)

【諏訪郡下7館合同企画】

『諏訪史』第一巻刊行100年記念展

「縄文時代観と原始芸術」



2025 2/1(土) > 3/23(日) 会期中無休

八ヶ岳美術館では、令和7(2025)年2月1日(土)～3月23日(日)まで、諏訪郡下7館合同企画展・『諏訪史』第一巻刊行100年記念展「縄文時代観と原始芸術」を開催致します。

『諏訪史』は、諏訪地域6市町村の歴史をまとめた「郡史」とも呼ばれる書籍です。その記念すべき「第一巻」は100年前の大正13(1924)年12月に発行されました。縄文時代から古墳時代の考古学分野を対象として図や写真も使いながら、原村を含む郡内全体の歴史を、専門的でありながら端的に記した書籍です。当時としては最高水準の専門書でした。

八ヶ岳美術館にはこの著作に寄与した考古学者である両角守一旧蔵の日記・写真アルバム・書簡・油彩など美術関連資料が所蔵されています。

本展の第1部「縄文時代観：土偶と非生活関連資料」では諏訪地域の土偶や耳飾り、独鈷石などの非生活的な道具と、『諏訪史第一巻』に登場する恩膳遺跡を中心に原村の遺跡について紹介し、第2部「原始芸術と考古学」では両角守一資料とともに、鳥居龍蔵が両角とその芸術を論じた彫刻家オシップ・ザッキンや「原始芸術」に影響を受けた岡本太郎の版画作品などを展示します。ぜひこの機会にご覧ください。

講演会(同時開催「大石遺跡」展共通イベント)

1. 「縄文中期初頭の諏訪における原村・大石遺跡の位置」
講師：佐々木潤(原村教育委員会文化財係長)
2月15日(土) 13:30～15:00
 2. 「遺伝子解析からここまでわかった縄文人のルーツ」
講師：太田博樹(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻教授)
3月1日(土) 13:30～15:00
 3. 「縄文中期農耕論と原村・大石遺跡」
講師：会田進(八ヶ岳jomon楽会会長/元長野県考古学会会長)
3月8日(土) 13:30～15:00
- ※講演会は各回とも会場：八ヶ岳美術館企画展示室
すべて参加無料/入館料別途、要予約

子どもクラブ教室

1. ロー石を磨こう・石棒ミニチュアづくり
2月9日(日) 10:00～12:00
 2. そっくりにつくろう・粘土でつくるミニ土偶・顔面装飾つき深鉢
2月23日(日) 13:00～14:30
- ※各回とも会場：八ヶ岳美術館企画展示室
すべて参加無料/入館料別途、要予約(定員各回5名)

八ヶ岳美術館 原村歴史民俗資料館

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611 TEL/FAX 0266-74-2701
E-mail: info@yatsubi.com URL: https://yatsubi.com

■ご利用案内

開館時間 9:00～17:00(最終入館は16:30まで)

休館日 年末年始、臨時休館を除き年中無休

入館料 一般(高校生以上):510円(460円)、小中学生:250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金

諏訪6市町村の小中学生は図書館利用カード、学生証などの提示により 無料で入館できます



八ヶ岳美術館の建物は、文化勲章受章者・村野藤吾の設計によるもので、日本建築家協会25年賞を受賞しました。曲線を多用したドーム型で天井はレースカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いたやわらかな明かりのなかで、作品をゆったりとご覧いただけます

■常設展

美術作品：清水多嘉示(彫刻・絵画)、津金雀仙(書)

考古学資料：国史跡阿久遺跡をはじめ、村内の遺跡から出土した縄文土器・石器を展示



「鳥居博士二随行 下伊那郡遺跡調査」と両角自筆の添え書きのある集合写真(八ヶ岳美術館蔵) 両角守一、鳥居龍蔵、八幡一郎、宮坂光次(上段左から3,5,6,9番目)らの顔がみえる

part1: 縄文時代観：土偶と非生活関連資料



「郡史」史料調査時に撮影されたガラス乾板写真(今井広亀旧蔵/諏訪市博物館蔵)

- 《土偶》：1 海土遺跡出土(藤森栄一旧蔵) 2 玉川村出土(両角守一旧蔵) 3 海土遺跡出土(瀧澤益作旧蔵)
4 《石剣》玉川村出土(両角守一旧蔵) 以上、全て諏訪市博物館蔵
5 《独鈷石》下諏訪上馬場出土 片倉館蔵/諏訪市博物館寄託

part2: 原始芸術と考古学



- 1 岡本太郎《黒い顔》1976年(リトグラフ版画/個人蔵)
- 2 オシップ・ザッキン《聖家族》(ザッキン美術館蔵)『諏訪史第一巻』掲載ページ(『鳥居龍蔵全集 第三巻』p210所収/朝日新聞社、昭和51年)



「郡史」史料調査時に撮影されたガラス乾板写真(今井広亀旧蔵/諏訪市博物館蔵)

